

年間指導計画 1年

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
学習編				
4月	1. 楷書の書き方を確かめよう			
	漢字の筆使い （教科書 P10-11） ◎漢字を構成する点画の種類と、その筆使いを確かめて書くことができる。〔伝国(2)ア, (1)ウ(イ)〕	毛筆 2	1 漢字を構成する点画の名称を教科書に書き込む。 2 漢字の筆使いのポイントを教科書に書き込む。 3 「学習の窓」を見て、漢字の筆使いのポイントを確かめる。 4 漢字の筆使いを意識して、毛筆で「地球」を書く。 5 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「地球」「探究」「現代」を書く。	【関】 漢字の点画の種類や筆使いのポイントを主体的に考えている。 【知】 漢字の点画の種類と筆使いのポイントを理解している。 【技】 漢字の点画の種類と筆使いのポイントを意識して書いている。
5月	漢字の字形 （教科書 P12-13） ◎漢字の字形の整え方を確かめて書くことができる。〔伝国(2)ア, (1)ウ(イ)〕	硬筆 1	1 硬筆で「青葉」の試し書きをする。 2 字形を整えて書くポイントを教科書に書き込む。 3 字形を整えて書くポイントを意識して、硬筆で「青葉」のまとめ書きをする。 4 試し書きとまとめ書きを比較し、字形を整えるという観点で向上した点を確認する。 5 「学習の窓」を見て、漢字の字形を整えて書くためのポイントを確かめる。 6 字形を整えて書くポイントを意識して、教科書 P13 上段の漢字を硬筆で書き込む。 7 教科書 P13 下段の漢字の部分の筆順を確かめ、硬筆で書き込む。	【関】 漢字の字形を整えて書くポイントを主体的に見つけようとしている。 【知】 漢字の字形を整えて書くポイントを理解している。 【技】 文字の外形と中心、点画や部分の組み立て方を意識して漢字を書いている。
	2. 楷書に仮名を交えて書こう			
	平仮名の筆使いと字形 （教科書 P14-15） ◎平仮名（楷書に調和する仮名）の筆使いや字形を確かめて書くことができる。〔伝国(2)ア, (1)ア(ア)〕	毛筆 2	1 「いろは歌」や平仮名の成立について理解する。 2 「学習の窓」を見て、平仮名の筆使いと字形のポイントを確かめる。 3 「結び」の書き方の違いを確かめる。 4 墨のすり方を確かめる。 5 平仮名の筆使いや字形を意識して、小筆で「いろは歌」を書く。	【関】 平仮名（楷書に調和する仮名）の筆使いと字形の特徴を主体的に見つけようとしている。 【知】 平仮名（楷書に調和する仮名）の筆使いや字形のポイントを理解している。 【技】 平仮名（楷書に調和する仮名）の筆使いを意識し、字形を確かめながら「いろは歌」を書いている。
6月	文字の大きさと配列 （教科書 P16-17） ◎文字の大きさと配列のポイントを確かめて、読みやすく書くことができる。〔伝国(2)ア, (1)ア(ア)・ウ(イ)〕	毛筆 2	1 文や文章を読みやすく書くポイントを教科書に書き込む。 2 「学習の窓」を見て、文や文章を読みやすく書くための、文字の大きさや配列のポイントを確かめる。 3 文字の大きさや配列、用紙に対する文字の大きさを意識して、小筆で俳句を書く。	【関】 文や文章を読みやすく書くポイントを主体的に見つけようとしている。 【知】 文字の大きさや配列、用紙に対する文字の大きさなど、読みやすく書くためのポイントを理解している。 【技】 文字の大きさや配列、用紙に対する文字の大きさを意識して読みやすく書いている。
7月	楷書と仮名のまとめ （教科書 P18-19） ◎これまでに学習したことを生かして、楷書と平仮名で文章を書くことができる。〔(2)ア, 伝国(1)ウ(イ)(イ)〕	硬筆 1	1 これまでに学習したこと（楷書の筆使いと字形／平仮名の筆使いと字形／文字の大きさと配列）を意識して、硬筆で「海鳥がいる。……」の試し書きをする。 2 試し書きと教材文字を比較し、これまでに学習したことを意識して書くことができたか振り返る。 3 横書きの書き方と、速く書くときの「許容される書き方」、片仮名の筆使いを確かめる。 4 これまでに学習したことから横書きの書き方、片仮名の筆使いを意識して、「シダ植物の特徴」を硬筆で書く。	【関】 これまでに学習したことを主体的に生かして書こうとしている。 【知】 楷書の筆使いと字形、平仮名の筆使いと字形、文字の大きさと配列のポイントを理解している。 【知】 横書きの書き方を理解している。 【知】 速く書くときの「許容される書き方」と片仮名の筆使いを理解している。 【技】 楷書の筆使いと字形、平仮名の筆使いと字形、文字の大きさと配列を意識して文章を書いている。
	【コラム】文字の歴史を探る （教科書 P20-21） ◎漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解することができる。〔伝国(2)ア・イ〕	知識 1	1 漢字には 3000 年以上の歴史があり、時代とともにさまざまな書体が誕生したことを知る。 2 日本独自の文字である仮名が、漢字を元にして誕生したことを知る。	【関】 漢字の書体の変遷や仮名の成立に関心をもっている。 【知】 漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
9月	3. 行書の書き方を学ぼう			
	行書の特徴 （教科書 P22-25） ◎行書の特徴を知り、筆使いを理解して書くことができる。 [伝国(2)イ, A(1)オ(2)イ]	毛筆 2	1 楷書と行書で書かれた「緑」を比較して違いを見つけ、話し合う。 2 楷書と行書で書かれた「緑」を指でなぞり、筆使いの違いを感じ取る。 3 「学習の窓」を見て、行書の特徴を確かめる。 4 楷書と行書の「横画」を毛筆で書き、筆使いの違いを理解する。 5 行書の特徴を意識して、硬筆の「緑」をなぞり書きする。	【関】 楷書と比較し、行書の特徴を主体的に見つけようとしている。 【知】 楷書との比較をもとに、行書の主な特徴と筆使いを理解している。 【技】 滑らかな筆使いを意識して行書の「横画」を書いている。
10月	点画の方向や形の変化 （教科書 P26-27） ◎行書の特徴である点画の方向や形の変化を理解して書くことができる。[伝国(2)イ, (1)ウ(イ)]	毛筆 3	1 楷書と行書で書かれた「木立」を比較して、点画の方向や形の違いを見つけ、話し合う。 2 行書で書かれた「木立」の点線をなぞり、点画の方向や形が楷書と異なる理由を話し合う。 3 「木」「立」を構成する点画の方向や形の変化を確認し、同じ点画を含む他の漢字を硬筆でなぞる。 4 「学習の窓」を見て、点画の方向や形が変化する理由と、主な変化のしかたを確かめる。 5 点画の方向や形の変化を意識して、毛筆で「木立」を書く。 6 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「木立」「天文」「水分」を書く。	【関】 楷書と比較し、点画の方向や形の違いを主体的に見つけ、その理由を考えようとしている。 【知】 点画の方向や形が変化する理由と、主な変化のしかたを理解している。 【技】 筆脈を意識し、点画の方向や形の変化に注意して行書を書いている。
11月	点画の連続 （教科書 P28-29） ◎行書の特徴である点画の連続を理解して書くことができる。[伝国(2)イ, (1)ウ(イ)]	毛筆 3	1 楷書と行書で書かれた「月光」を比較して、点画が連続している部分を見つけ、話し合う。 2 連続させるときの留意点を確かめる。 3 「月」「光」に見られる点画の連続を確認し、同じ種類の連続を含む他の漢字を硬筆でなぞる。 4 「学習の窓」を見て、点画が連続する理由と、主な連続のしかたを確かめる。 5 点画の連続を意識して、毛筆で「月光」を書く。 6 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「月光」「文庫」「規則」を書く。	【関】 楷書と比較し、点画が連続している部分を主体的に見つけようとしている。 【知】 点画が連続する理由と、主な連続のしかたを理解している。 【技】 筆脈を意識し、点画の連続のしかたに注意して行書を書いている。
12月	行書の練習 1 （教科書 P30-31） ◎点画の方向や形の変化、連続のしかたを覚えて、その部分をもつ漢字を書くことができる。[伝国(2)イ, (1)ウ(イ)]	硬筆 2	1 点画の種類や組み合わせによる点画の方向や形の変化、連続のしかたのパターンを覚え、その点画を含む漢字を硬筆でなぞる。 2 行書には多様な書き方があることを確かめる。 3 設問②の空欄に当てはまる漢字を選び、点画の方向や形の変化、連続のしかたに注意して硬筆で書き込む。	【関】 点画の方向や形の変化、連続のしかたを覚え、他の漢字に生かそうとしている。 【知】 点画の種類や組み合わせによる方向や形の変化、連続のしかたのパターンを理解し、覚えている。 【知】 行書には多様な書き方があることを理解している。 【技】 点画の方向や形の変化、連続のしかたに注意して、その部分をもつさまざまな漢字を書いている。
1月 2月 3月	[コラム]季節のしおり 1 （教科書 P32-33） ◎これまでに学習したことを生かして、楷書・平仮名、行書で季節にまつわる詩歌や言葉を書くことができる。[伝国(2)ア・イ] ○季節にまつわる詩歌や言葉など、伝統的な言語文化を書いて味わうことができる。[伝国(1)ア(ア)・ウ(ウ)(イ)]	硬筆 1	1 季節にまつわる詩歌や言葉を音読して味わう。 2 これまでに学習したこと（楷書の筆使いと字形／平仮名の筆使いと字形／行書の特徴／文字の大きさと配列）を意識して、楷書・平仮名、行書で書かれた季節の言葉を硬筆でなぞる。	【関】 これまでに学習したことを生かして季節の言葉を書くことに、興味をもって取り組んでいる。 【知】 これまでに学習したこと（楷書の筆使いと字形／平仮名の筆使いと字形／行書の特徴／文字の大きさと配列）を理解している。 【技】 これまでに学習したことを生かして、楷書・平仮名、行書で季節にまつわる詩歌や言葉を書いている。